

# 万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行  
浄土真宗本願寺派  
万行寺 山崎信充  
〒385-0003  
長野県佐久市下平尾461-1  
電話 0267-67-2460



## ■住職法話

結ぶ絆から、広がるご縁へ

## ■浄土真宗 ◎仏事のイロハ

## ■本願寺の本

「◎仏事のイロハ」末本弘然 著

## ■お知らせ、編集後記

## Photo

佐久地域の桜前線は高地のため少し遅めです。今年はお天気にも恵まれ、強風に遭うことも少なく長く楽しめたようです。家族で、お花見を楽しみました。

# 住職 法話

## 結ぶ絆から、広がる「ご縁へ」

三月九日付、信濃毎日新聞

一面の『斜面』全文です。

「絆」は元々馬や犬をつなぎとめる綱のこと。夫婦などの断ち難いつながりを意味するようになった。東日本大震災発生の2011年、世相を表す漢字に選ばれている。声高な「絆」キャンペーンが響き渡った◆被災した宮城県東松島市の大学生片平侑佳さん(22)は翌年、思いを詩につづっている。高校3年の夏だった。〈潮の匂いは友の死を連れてきた(中略)もう一度だけ、君に会いたい。くだらない話をして、もう一度だけ、笑いあつて、サヨナラを、言いたい〉◆〈潮の匂いは一

人の世界を連れてきた。(中略)自分のことしか見えない誰かは響きだけあたたかい言葉で僕たちの心を深く抉る。

「絆」と言いながら、見えないう恐怖を僕たちだけで処理するように、遠まわしに言う。日本は一つと強調される表面

きの「絆」への違和感だろう◆安倍晋三首相は東京五輪招致で福島原発の汚染水について「状況はコントロールされている」とし、東京は安全と訴えた。福島を分断し過去に追いやるかか発言だった。震災がれきは各地で受け入れを拒まれていた。「絆」の裏に深い溝が横たわっていた◆片平さんの詩はネットにも転載

共感を集め波紋を静かに広げている。詩は〈潮の匂いは優しい世界だった。／潮の匂いは孤独の世界になった。／潮の匂いはー〉で終わる。震災から間もなく6年。潮の匂いは何を連れてくるのだろうか。

2011年、東日本大震災から六年になります。当時、その年の十二月の寺報に、「今年を表す漢字『絆』」と題して私が法話を載せていたことを思い起こしました。

それは、私事ですが、大震災のあった年の十二月に子が授かり、命名に悩む中で「絆」という字の意味を調べるうちに、慎重に使う言葉であるこ

とに気づかされました。人と人との結びつきは素晴らしいことですが、それには限界があります。良い響きだけで「絆」の押しつけをしてはならないということです。

この頁の下方に、「結ぶ絆から、広がるご縁へ」というテーマがあります。「絆」という変えることの出来ない強いつながりも大切です。しかし、更にそこから「ご縁」によって人は他者とながりが合い、生かされていることに気づいていくのでしょうか。「絆」から、お釈迦さまの説く、あらゆるものが縁起(ご縁)によるものであるという見方を大切にしたいものです。



### 浄土真宗

## ⑧ 仏事のイロハ

### 一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

### 「安置する意味」

我が家へ仏さまをお迎えしましゅう！

お仏壇の話から始めます。お仏壇とは字の「とく、仏さまがいらつしやる壇のことです。仏さまとは、浄土真宗の場合、特に断りがなければ阿弥陀仏をさします。いのち(寿命)とひかり(光明)が限らない(無量である)というのが「阿弥陀」の意味。「仏」は永遠普遍の真理を表します。つまり、阿弥陀という真理・真実を表す仏さまがあられる場がお仏壇というわけ

す。

よく勘違いされるのは「家族の誰かが亡くなって初めてお仏壇が必要になる」と思われることです。しかし、真実を仰ぐのは生きている私たちです。いろいろな悩み事を抱え、悲しみや怒りに心乱す私たち、真実の安らぎを与えようとされているのが仏さまです。その仏さまに、「私」が出会う場がお仏壇です。もちろん、お仏壇を通して亡き人に会うこともできます。現に、「家族の死」とい



う悲しみを縁としてお仏壇を求められる方が多いのも事実でしょう。しかし、だからと言って、お仏壇は「亡き人が入られるところ」と決めつけてしまうと、本来の意味がわからなくなる恐れがあります。

お仏壇は、実体としての亡き人(の靈魂)が「入るところ」なのではなくて、亡き人の「尊さや真実心に触れるところ」と言えばよいでしょうか。また、亡き人の「願いを聞く場」でもありますし、「仏となつて、つねに私を見守ってください」亡き人の心に出会う場」でもあります。つまり、亡き人も私も、ともに仏さまに包まれ、心の温もりを味わせていただく場がお仏壇なのです。

ですから、亡き人を偲ぼう

とする方も、家族の皆が心通わすことが大切だと思われた方も、一人住まいの方も、長男であろうが、末っ子であろうが、人間、どんなスタイルであっても、生きる依りどころとなつてくださる仏さまをお迎えするために、まずはお仏壇を自分たちの生活空間に置いてください。

### ポイント

- ▼お仏壇は仏さまの真実に私が出会うところ
- ▼お仏壇を求めるのに、家族の死に左右されなくてもよい
- ▼家ごとにお仏壇を安置しよう

「浄土真宗 ⑧ 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より

## ～本願寺の本～

『**新**仏事のイロハ』

末本弘然 著／本願寺出版社 刊 648円(税込)

「仏壇のローソクはなぜつけるのか」「仏花はなぜこちら向きか」などの素朴な疑問から、仏壇のしょうごん荘厳や作法、法要儀式のこと、お墓のことなどをイラスト付きで解説。

45万部を売り上げたベストセラー「仏事のイロハ」の内容を、今日の核家族化や葬儀のありかたなど、時勢に応じて一部加筆修正し、装丁・写真・イラストを一新したりリニューアル版。

(本願寺出版社ホームページより)



今回から始めた連載「**新**仏事のイロハ」の本です。気になる方は、お買い求め下さい。

## 万行寺門信徒会会員の皆様へ

万行寺は皆様の会費によって支えられています。昨年度も浄財として大切に使用させていただきました。役員総代会にて、昨年度の会計報告の後、本年度の年会費のお願いを6月末頃を予定しています。何卒、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 編集後記

連載の内容に悩みながら、今回から「仏事のイロハ」を始めました。以前も、寺報で同連載をしていたものですが、「新」が付くように、時代に合わせた内容になって出版されたので一新して始めます。

◆お参りに伺うと、仏事に関する相談事がよくあります。ご家庭のご事情により様々ですが、浄土真宗の仏事の基本を知っていただき、参考にして下さい。

◆五月まで勤められる本願寺の「伝灯奉告法要」に、日を見て参拝してこようと思っています。また報告させていただきます。

